



距離感

令和3年4月26日(月)

心を育む生徒指導通信 No.1【通算33号】

作成者・教諭 花園修兵



始まりました！ 令和3年度 穴水高校がまた大きく動き出します。

今年度新しく始まるのは、生徒たちが自分たちで作成した

穴高スマホルールの実施です。

穴水高校は生徒一人ひとりが主役です。「やらされる」のではなく「自らやる」主体性が大事です。

そして、何よりも **“何のために”** それをやるのか・・・この目的があってこそ、意味のあるものになります。よりよい学校を創るために自ら立ち上がる。穴水高校というチーム全員で創り上げる。学校のため、自己実現のため・・・よりよい生活を確立しましょう！

さて、今年度最初の生徒指導通信のテーマは「**距離感**」です。

あなたは家族や友人、先輩、後輩、自分のスマホや勉強道具・・・距離感はどうなっていますか？

皆さんは地球と月がどれほど離れているか知っていますか・・・？

距離にして**約38万km**離れているそうですよ。

ロケットで月に行くとしたら・・・**3日間**

飛行機で月に行くとしたら・・・**20日間**

自動車で月に行くとしたら・・・**約半年**かかるそうです。

約50年前にアポロ11号の乗組員が月に鏡を残してきたおかげで

今では月との距離がかなり正確に把握できるようになっているようです。地球から鏡に向かってレーザー光線を放ち、その光線が鏡に反射して地球に戻ってくる時間が往復で2.5秒だそうです。

さらに驚くべきことは、月は1年間で3、4センチほど今も地球から遠ざかっていることがわかっています。逆に言えば、月はかつて、今よりももっと地球に近い所に存在していたことになります。

今から45億年前、月は今よりも**20分の1**くらいの距離にあり、地球から見える大きさは今の**400倍**あったそうです。満月は今より豪華に夜空に輝いていたということです・・・人類はまだ誕生してませんが(笑)



さて、月が地球から遠ざかることでどのような現象が起きるかわかりますか？

それは、地球の**自転速度が遅くなる**ことです。フィギュアスケートの選手をイメージしてください。

高スピードで回転している時、選手は必ず手を縮めます。そして、手を伸ばしながら回転を緩めます。地球と月の関連性もこれと同じ原理です。地球が「選手」、月が「選手の腕」。

この連動した作用のことを専門用語では「**角運動量保存の法則**」と言います。

では、地球の自転速度が遅くなるとどうなるか？ そう、1日の長さが変わってきます。

例えば、今から4億年前の1日は「21時間」だったそうですよ。



このことから、近すぎても遠すぎてもいけない、適切な距離感が大切だと言えます。

コロナの関係で、もっと触れ合いたいのになんか離れなくてはいけない・・・という距離感。(人)

友人だとはいえ、ズケズケと相手のプライベートに入り込む・・・という距離感。(心)

勉強しているのに、自分の近くで電源が入っているスマートフォン・・・という距離感(モノ)

距離感が乱れると**自分の心理や行動もブレます**。どれも適切な距離感がないと、人として正しい判断と行動ができません。みなさんが保っているその距離感は、相手と自分にとって適切ですか？・・・

穴高 ありがとうの輪 No.9

3A・M. I さんから 3A・N. T さんへ ありがとう。

いつもいつも、おもしろい話をしてくれて笑わせてくれます。

そんな Nのおかげで高校生活が楽しいよ。 ありがとう N!